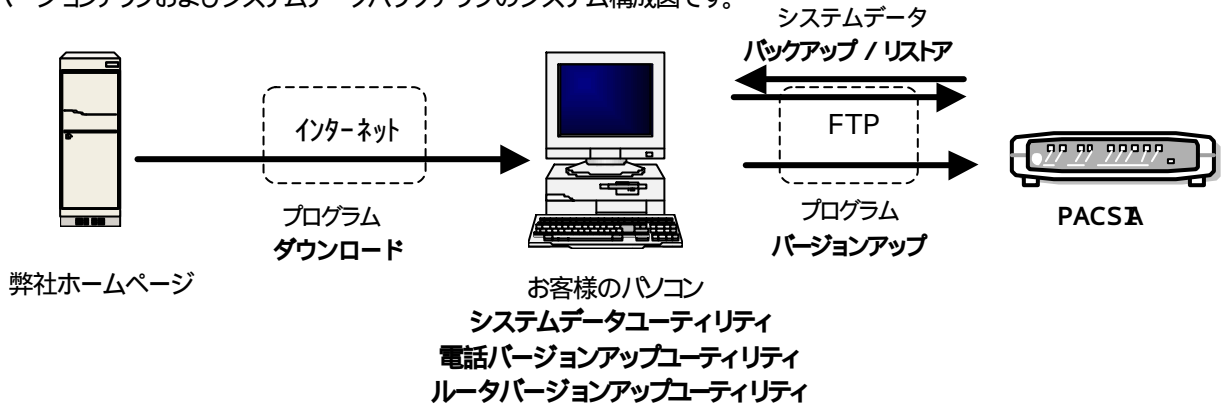


# PACSIA バージョンアップ手順書

PACSIA のファームウェア (基本ソフトウェア) をバージョンアップすることにより、最新の機能をご利用になれます。ファームウェアにはルータ機能と電話機能の 2 種類のプログラムがあり、それぞれ別々にバージョンアップを行います。ファームウェアをバージョンアップする前に、必ずシステムデータのバックアップを行ってください。

## 1 システム構成

バージョンアップおよびシステムデータバックアップのシステム構成図です。



## 2 バージョンアップの手順

ファームウェアのバージョンアップは以下の手順で行います。

- 1 バージョンアップの準備
- 2 システムデータのバックアップ
- 3 ルータファームウェアのバージョンアップ
- 4 電話ファームウェアのバージョンアップ
- 5 バージョンアップの確認
- 6 システムデータのリストア (復元)
- 7 事業者識別番号 自動付与設定  
(全ての手順を行うのにかかる時間は、約30分です。)

### (1) バージョンアップの準備

1-1 現在のファームウェアのバージョンを確認します。

WWW ブラウザでPACSIA 主装置の IP アドレス (初期値は<http://192.168.1.1>) にアクセスし、データ設定画面を開きます。

データ設定画面「PACSIA メインメニュー」下部のバージョン情報が、V3.00 ~ V3.12 のいずれかであることを確認します。

**V3.00 ~ V3.12 以外のバージョンの PACSIA は、V3.13 へのバージョンアップができませんので、ご注意ください。**

バージョン		MACアドレス	
V3.13	電話機プログラム	LAN	00-20-c1-21-ff-78
V3.13	ルータプログラム	WAN	00-20-c1-21-ff-79

1-2 データ設定画面内で、「ルータの詳細設定 - 設定開始 - FTP」の順にクリックし、FTP ログインを「する」に設定し、任意のログイン名とパスワードを設定します。(例) ログイン名 pacsia2 パスワード ftp

設定項目	設定値
FTPログイン	<input checked="" type="checkbox"/> する <input type="checkbox"/> しない
ログイン名	pacsia2
新しいパスワード	*****
確認のため再入力	*****

1-3 データ設定画面内で「設定データ保存」をクリックし、「保存」をクリックします。

1-4 システムデータユーティリティ ルータバージョンアップユーティリティ 電話バージョンアップユーティリティ を、弊社ホームページからお客様のパソコンのデスクトップなどにダウンロードします。

1-5 ダウンロードしたファイルをダブルクリックします。

バージョンアップに必要ないくつかのファイルが自己解凍されます。

(注意) readme . txtが添付されている場合は、よく読んでから、手順に従ってください。

## (2) システムデータのバックアップ

2-1 パソコンからシステムデータユーティリティにより、主装置のシステムデータをパソコンに保存します。

「システムデータユーティリティ」の使い方については、<注1>を参照してください。

## (3) ルータファームウェアのバージョンアップ

3-1 パソコンからルータバージョンアップユーティリティにより、ルータファームウェアをバージョンアップします。

router フォルダ内の Pacsia.exe を実行します。「プログラムアップロードユーティリティ」の使い方について

については、<注2>を参照してください。(ファームウェアのアップロードには約2分かかります。

正常に終了すると、完了メッセージが表示されます。)

3-2 アップロードが正常に終了したら、主装置の電源をOFFにします。

3-3 主装置の電源をONにします。(ファームウェアの書き換えが実行されている間、LEDランプが点滅します。プログラムの書き換えには約2分かかります。)

## (4) 電話ファームウェアのバージョンアップ

4-1 パソコンから電話バージョンアップユーティリティにより、電話ファームウェアをバージョンアップします。

business フォルダ内の Pacsia.exe を実行します。「プログラムアップロードユーティリティ」の使い方については、

<注2>を参照してください。(ファームウェアのアップロードには約1分かかります。正常に終了すると、完了

メッセージが表示されます。)

4-2 アップロードが正常に終了したら、主装置の電源をOFFにします。

4-3 主装置の電源をONにします。(プログラムの書き換えが実行されている間、LEDランプが点滅します。プログラムの書き換えには約3分かかります。)

## (5) バージョンアップの確認

5-1 ファームウェアのバージョンが新しくなっていることを確認します。

データ設定画面「PACSI Aメインメニュー」の下部バージョン情報を確認します。電話機プログラム、ルータプログラムとも、V3.13 になっていない場合は、バージョンアップに失敗しているため、手順(3)から再度実行してください。

## (6) システムデータのリストア(復元)

6-1 パソコンからシステムデータユーティリティにより、手順(2)でパソコンに保存したシステムデータを主装置にリストアします。「システムデータユーティリティ」の使い方については、<注1>を参照してください。

6-2 データ設定画面内で、ルータの詳細設定 - 設定開始 - 設定データ保存」の順にクリックし、「保存」をクリックします。(保存結果が表示されない場合は、1分ほど待ってから、再度「保存」をクリックしてください。)

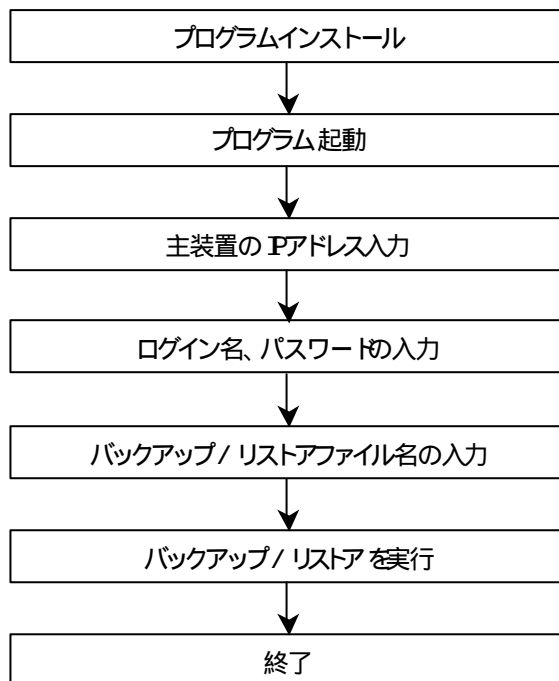
6-3 主装置の電源をいったんOFFにしてから、再びONにします。

## (7) 事業者識別番号 自動付与機能設定

別紙の取扱説明書の追記 および お知らせ」をお読みにになり、事業者識別番号 自動付与機能の設定を行ってください。また、事業者識別番号の変更は、工事者設定となりますので、局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。

### <注1 システムデータユーティリティの使い方>

システムデータユーティリティを使用する場合の操作方法です。



pacsysut フォルダ内の、setup.exe を実行します。  
画面の指示に従って、インストールします。

スタート-プログラム - PACSIA システムデータユーティリティ- PACSIA システムデータユーティリティの順にクリックします。

初期値は 192.168.1.1 です。

手順 1-2 で設定したログイン名、パスワードを入力します。

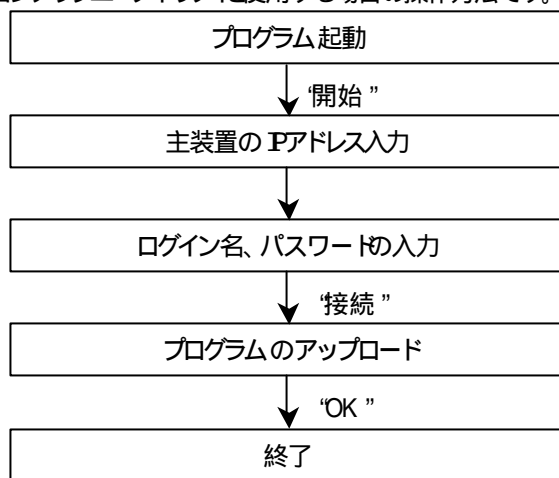
バックアップデータの保存先を指定します。

バックアップするときは「受信」を、リストア（復元）するときは「送信」をクリックします。

バックアップ後は、いったんユーティリティを終了してください。

### <注2 バージョンアップユーティリティの使い方>

バージョンアップユーティリティを使用する場合の操作方法です。



初期値は 192.168.1.1 です。

手順 1-2 で設定したログイン名、パスワードを入力します。

## 3 必要なパソコンの仕様

システムデータユーティリティとバージョンアップユーティリティが動作するパソコンの仕様は以下のとおりです。

PC 本体		
Windows 版	OS	Microsoft Windows 98 SecondEdition、Windows Me、Windows2000、WindowsXP
	CPU	Intel Pentium 以上